

石川県主要農作物種子協会のあらまし

社団法人石川県主要農作物種子協会は、昭和37年に従来から水稻の種子生産に取り組んできた「白山郷主要農作物採種組合」を「石川県主要農作物種子協会」と改称し、優良種子の計画的な生産確保及び円滑な流通をはかることを目的として発足した。

平成10年に「社団法人 石川県主要農作物種子協会」として法人化するとともにＪＡ石川県主要農作物種子調製センターの建設により、これまで分散して行われてきた選別調整を一元化するとともに集中配送システムを確立し、種子の需給調整から選別調製までを一貫して行い、生産性の向上、高品質化をはかっており、今後とも関係機関・団体と連携して主要農作物種子の安定供給と品質向上に努めることとしております。



沿革

- 昭和25年——白山郷主要農産物採種組合の設立
「白山種粳」として販売
- 昭和37年——石川県主要農作物種子協会と改称
種子場5農協、関係市町村、農協連、種子更新協議会等で構成
- 昭和57年——大麦、大豆種子の取扱い開始
- 平成10年——社団法人 石川県主要農作物種子協会として設立
種子調製の一元化、集中配送システムの確立

組織

正 会 員——14会員（市町、種子場ＪＡ、農業協同組合連合会）

